



可也コミュニティセンター

# しまてらす

2024年3月1日発行

糸島市志摩初 18 番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.48 号

## 2月はイベントが盛りだくさんでした。



### おもち 20kg ついたよ！ もちつき大会

2月3日(土)、もちつき大会が行われました。JA 女性部椿会のみなさんの協力のもと、子どもから大人まで、約 60 名の参加でした。20kgのもち米を杵でつき、大根おろしもち・磯部もち・きな粉もちなどで食べました。参加した子どもたちは、「今日はとても楽しかったです。1 つめに楽しかったことは、もちをつくことでした。2 つめに楽しかったことはまるめることでした。」「もちをついて食べておいしかったです。」「もちつきでつくとき、すこしむずかしかったけど、おいしかったです。」などさまざまなことを感じて、良い経験となったことでしょう。



もちつき がんばりました

可也コミュニティセンター



情報メール  
いとしま

主催:可也校区振興協議会

### 九州大学 ジャグリングショー

2月18日(日)、九州大学ジャグリング部9JUC(ナインジャック)のみなさんによるショーとジャグリングの体験会が行われました。子どもから大人まで、約 60 名の参加でした。ジャグリングとは、サーカス等で見られる大道芸のことで、当日は、ディアボロ・フラワースティック・クリスタルボール・レインボースプリングなどのさまざまなパフォーマンスを鑑賞し、参加者からは歓声が上がっていました。体験会では、5~6 種類が体験でき、「すごい演技を見ることができ、感動しました」「コップ投げが楽しかった」などと大盛況となりました。ご来場いただきましたみなさま、ありがとうございました。



ジャグリング体験会 ポール技

主催:青少年育成可也校区民会議

### 子ども会のリーダーになるために

2月11日(日)、地域の子ども会に加入している主に小学5年生を対象としたリーダー研修会が行われました。約 20 名の参加でした。今年の研修会は、糸島そばの会の指導によるそば打ち体験と、糸島市危機管理課による身近な防災についての講習会が行われました。参加した子どもたちは「子ども会の活動は、遊びが大切だと思った。下級生にも伝えていきたい」「そば打ちは、めんの太さで食感がちがうことが食べてみてわかった」など、さまざまな気づきがあったようです。



そば打ちをする参加者

主催:可也校区子ども会育成会連絡協議会

## 3月の行事予定



- 1日(金) 9:00 楽々ウオーク(柳川)  
 2日(土) 10:00 かやっ子アンビシャス広場  
 (キッズヨガ)  
 3日(日) 9:00 モルック大会  
 7日(木) 11:00 しまてらす講座  
 (骨・カルシウムセミナー)  
 19:00 区長会  
 8日(金) 9:30 志摩中学校卒業式  
 9日(土) 10:00 かやっ子アンビシャス広場  
 (プリンアラモードづくり)  
 14日(木) 9:30 可也小学校卒業式  
 16日(土) 10:00 しま歴史倶楽部  
 22日(金) 10:00 ダーツクラブ kaya  
 26日(火) 10:00 運動講座⑱

☆行事予定は変更になる場合があります。ご了承ください。



(印刷の予約について)

校区諸団体の総会等の印刷の予約を受付けています。事前にお電話での予約をお願いします。(用紙は持参願います)

☎327-1734 可也コミュニティセンター

糸島市健康づくり課より

健康コラム  
第45号

## 良い睡眠で からだもこころも健康に

「春眠暁を覚えず・・・」とあるように、春はぐっすり眠りやすい季節ですね。睡眠は、人間の健康と深く関係しています。この機会に「睡眠」について考えてみませんか？

睡眠を快適にする3つのポイント

1. 日中は活動的に過ごす
2. アルコールを寝酒にしない
3. 昼間の眠気で困らない程度の睡眠を



### ★おとなの睡眠の目安時間★

6時間以上(但し、高齢者は8時間以上にならないよう)

- ・日光を浴びると、眠りを誘うホルモンの分泌が促されます。
- ・アルコールは眠りを浅くし熟睡感が得られにくくなります。

問合せ：糸島市健康づくり課

☎332-2069

## 灯台下暗し NO.48

### 第1号信号機

交差点でまちの安全を守っている信号機。ここであえて触れなくても、信号機の見方はわかりますよね。数えてみると、可也校区内には14カ所に、設置されているようです(点滅を除く)。それでは、可也校区内で最初に設置された信号機はどこなのでしょう。

今から52年前(昭和47年)の糸島地区は飲酒運転が多かったらしく、福岡県下でも要注意地区とされていたそうです。

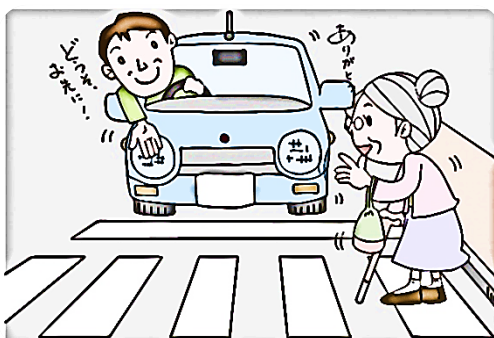
また、志摩町内では一番の交通事故多発地帯だった初から井田原にかけての県道85号線に、信号機の設置が望まれました。そんな中、

同年12月20日、東京在住・志摩町出身の方の寄贈で、現：初交差点(浜田橋の交差点)に志摩町内で初めての信号機が設置されました。同日、点灯式と可也小学校児童による渡り初めも行われたそうです。

町も「赤・黄・青による交差点の通行を今一度勉強しましょう」と呼びかけを行いました。それから1年後の昭和48年11月には、前原との境にある加布羅交差点と、校区からは外れますが、引津の松原交差点のそれぞれに町内2つ目、3つ目の信号機が設置されたそうです。しかしながら当時は、「車が来らんけん、

赤でも人が渡りよおばい」「人が渡りらんけん、車が信号無視ばしよる」などの苦情や、信号機に馴染みが無い人からは「信号の見方が分らん」などの相談が少なからずあったとか。

それにしても、可也校区(旧志摩町)内で第1号の信号機が、町や警察ではなく、個人の方の寄贈で設置されていたことに驚きました。みなさん、これからも“交通ルールを守っていれば起きなくて良かった事故”の当事者とならないように、しっかりとルールを守りましょう。(櫻井)



現在の初交差点